

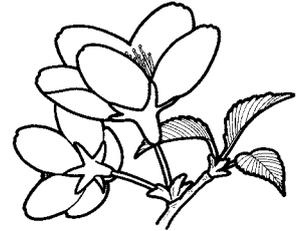
ひとことふたこと



佐藤 信子 根小屋町
薫風裡「町誌四十年のあゆみ」祝ぐ

近くに特別史跡上野三碑、文学碑、茶臼山を抱く緑豊かな地に町づくりをなされた先人の尽力。

どんど焼を初め四季折々の町ぐるみの行事カルチャーな公民館活動等々。又コロナ禍中の熟慮に依る揚火火等は圧巻の癒しでした。引き継がれた歴代区長、関係者の熱い絆と謙虚な努力に依る見事な連携プレイに感嘆と賞讃をするばかりです。校区傘下の見晴台の私共も楽しませて頂いております事を感謝申し上げます。城山町に栄光あれ！



江原 たい子 吉井町

町誌 40 周年おめでとうございます。

公民館と地域の中心となり活動に熱心に取り組んでいる皆様に感謝しています。地区の方に声を掛けて頂き喜んで、講座に参加し楽しく色々学び交流させて頂いています。城山の活動は協力体制が整い、社会問題になっている少子化 高齢化等も安心して住みやすいと感じています。生涯学習も体験などから、感動と勇気を頂き感謝しています。これからも魅力ある企画楽しみにしています。

鈴木 まゆみ 城山町

1982年1月中旬、私達は、城山団地で生活を始めました。入居当初、中層住宅は未着工で、広い草原のようでした。野うさぎが飛び跳ねている様子がよく見られました。又、我が家は、北公園の後方にありますが、家の二階から商店街が一望できました。

この街に住んで良かったなと思うことは、安心して生活できる環境が整っている事です。又、佳き友に恵まれた事は私の財産です。人も街も。成熟したより良い生活空間であれと願っています。

渡辺 照子 城山町

「子どもの笑顔が町を元気に」

6年前、当時の児童委員さんに声をかけられ、これも縁と思い役を受け地域に関わる機会ができました。我が子がお世話になっていた30年前頃は小学校も421名でしたが、年々減少し今年38名です。コロナ禍と重なり外で元気に遊ぶ声も聞こえず寂しさを感じます。登校時、校門で「おはようございます」と明るい声にホッと、元気をもらっています。子どもは町の宝です。その笑顔が続くことを願っています。

櫻井 昌子 寺尾町

楽しい企画がいつまでも続きますように。

新年のどんど焼きに願いを込め、春の桜に心浮かれ、夏祭りに胸を弾ませる楽しい行事が今も続いている。「行事を通してふるさとを感じてほしい。」と当時の役員の方が考えてくださったとか。その思いは我子にも浸透している。県外に住む娘は夏祭りの日程を確認してくる。子どもの頃の楽しかった思いを大人になっても味わいたいのだろう。公民館の心浮かれる企画に参加意欲が湧き上がる。生涯学習の発信地として多いに希望を託す。